



特集 レモンが甘い!?

「味覚」の不思議を徹底解剖!

- 06 教養広場
- 08 わたしのチャレンジ
- 09 卒業生からのメッセージ
- 10 こんな本を出しました
- 12 学部紹介・クラブ紹介
- 13 国際交流
- 14 就職情報
- 15 入試情報

高井 綾子(たかい あやこ)
大学院人間文化研究科博士後期課程
共生自然科学専攻2回生
出身校:大分県立大分上野丘高等学校



特集

レモンが甘い!? 「味覚」の不思議を徹底解剖!

生活環境学部は、生活に必要な知識と経験が凝集した教育と研究の場です。「衣食住」の何気ない日常にはまだまだ、究明されていないことがたくさんあります。今回は食物栄養学科の「味覚」研究をクローズアップし、食生活に欠かせない「味覚」の不思議な現象について教えていただきました。



特集

レモンが甘い!?

02 ▶ 「味覚」の不思議を徹底研究!

06 ▶ 教養広場

08 ▶ わたしのチャレンジ

09 ▶ 卒業生からのメッセージ

10 ▶ こんな本を出しました

12 ▶ 学部紹介・クラブ紹介

13 ▶ 国際交流

14 ▶ 就職情報

15 ▶ 入試情報



合併号について

NWU TODAY第21号は、これまで学内向け情報誌として発行してきた「学園だより」との合併号として発行し、同誌で掲載してきた教員・学生の活躍記事を取り入れました。より多くの方々に「奈良女子大学」の素顔を知っていただければ幸いです。

人間が持つ「5つの味覚」

——何故、人は味を感じることができるのか？

高井 口の中には「味細胞(みさいほつ)」と呼ばれる、味を感じる細胞があります。味細胞は味物質を感じる受容体を持っており、受容

体が味物質を感じると、人は味を感じます。

中田 「味細胞」は「甘味」を感じる受容体(甘味受容体)、「酸味」を感じる受容体(酸味受容体)など、ある味に特化した受容体を持っています。例えば砂糖を食べると甘味受容体を持つ味細胞が砂糖を感じ、その情報を脳へ伝えるので「甘い」と感じます。

——味覚にはどんな種類があるのですか。代表的な味覚について教えてください。

高井 代表的なものは「甘味」「酸味」「塩味」「苦味」「旨味」の5つで、それらを「基本5味」といいます。甘味の代表的なものには「シロ糖(砂糖)」があります。また、果物の甘みである「果糖」、哺乳類の乳汁に含まれる「乳糖」にも甘味があります。

酸味の代表的なものには、食酢などに含まれる「酢酸」や、レモンなどの果物に含まれる「クエン酸」、乳酸菌飲料や漬物などの酸味となる「乳酸」などがあります。塩味の代表的なものは「塩化ナトリウム(食塩)」です。苦味は身近なところというと、珈琲、紅茶などに含まれる「カフェイン」や緑茶に含まれる「カテキン」などがあります。

中田 旨味の代表的なものには、昆布などの「グルタミン酸」、鰹節の「イノシン酸」、椎茸の「グアニル酸」があります。これらはいずれも日本人が発見した味覚物質です。もともと「基本4味」だったところ、日本発の「旨味」も含めて、「基本5味」と言われるようになった。グルタミン酸が発見され、「旨味」と名付けられたのが1908年です。それから世界的に認知されるようになったのは50年ほど前のことなので、まだ「旨味」の歴史は浅いと言えますね。世界の言葉としても日本語と同じ発音で「うまみ(Umami)」と言われています。

「基本5味」以外にも味覚はありますか？

森本 他にもあります。「辛味」「金属味」「えぐ味」「渋味」などの味覚がありますが、これらは「補助味」と言われます。「金属味」は、鉄を口に入れたときに感じる味覚です。鯖のような味ですね。たとえば魚の内臓には「苦味」「えぐ味」がありますが、その他にも鉄分による「金属味」も感じられると思います。

中田 「基本5味」が人の味覚を形成する要素となっておりますがこれらに「補助味」が加わることで、さらに味のバラエティが広がります。ある味になります。

——食物栄養学で「味覚」はどのような授業で学べますか？

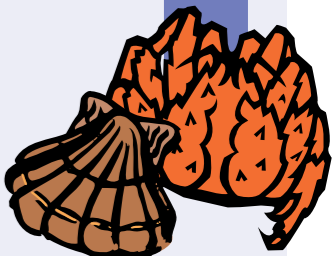
森本 調理学や食品学の授業です。私は現在4回生で、味覚に関する卒業研究をしています。研究テーマに基づいた実験を通して、より深く「味覚」について学ぶことができます。

カニとホタテは同じ味!?

——オープンキャンパスで体験できる味覚の実験について教えてください。

高井 味覚の体験授業では、カニの味とホタテの味の粉末を混ぜて味を作り出す実験を体験してもらいます。「アミノ酸」「核酸(旨味)」「塩」を水に溶かし、分量を変えながら調合すると、カニの味になったり、ホタテの味になったりします。水で調整しますので、液体となった状態で味を体感していただくことになります。

「カニ」「ホタテ」を実際に食べなくても、中に含まれる味物質だけを口の中に入れて、味を知ることができます。この実験によって、舌は物質の量の割合が変わるだけでも、味を見分けることができるということを高校生に感じてほしいです。



——これは驚きの体験ですね。こうして作り出された味物質を使用し、実社会で活かされていることはあるのでしょうか。

中田 カニカマ、ホタテの代用品などは、これらを活用することで作ることができると思います。

——実際のカニやホタテの成分を使わずに、それらから抽出していない化学物質だけで味ができるというのは不思議なことですね。

中田 カニやホタテの味成分を細かく分けていくと、主に6種類の成分が味を決めていることがわかります。それが味となって人が感じ取るといえることです。実験を通して、そのような小分子が私達の味を決めているということを経験してもらいたいです。

味覚を変えるミラクルフルーツ

——味覚を変えることができる植物があると聞きました。

中田 西アフリカ原産の果実で、「ミラクルフルーツ」と呼ばれるものがあります。現地のカニクイザルがそのフルーツを食べたあとに、酸っぱい果実を食べていたのを学者が発見し、この植物の研究がはじまりました。なぜそうなるかというのはまだわかっていないのですが、ミラクルフルーツに含まれるミラクリンというたんぱく質が味覚を変える働きをしていると考えられています。なお、ミラクリンは、味覚研究で有名な栗原堅三ご夫妻がミラクルフルーツから単離・精製されたものです。



学内のビニールハウスで栽培されているミラクルフルーツ

ようになると考えられています。そして受容体が活性化され脳に「甘い」という信号が送られます。

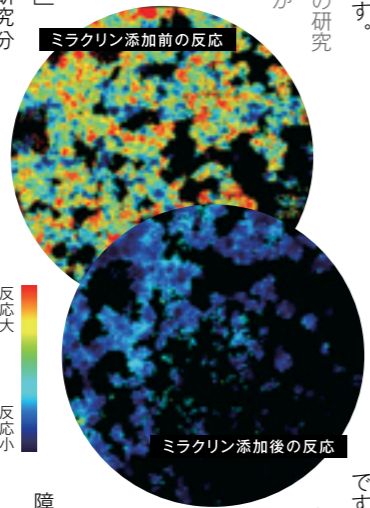
——レモンとミラクルフルーツの成分を合わせた場合は、味以外に変化は起こりますか？

森本 特に変化はありません。レモンの成分とミラクルフルーツの成分の何かが結合して、味の変化が生じているわけではないといえます。

高井 ほかにこのような物質はありません。たとえば「クルクリン」という植物に含まれるクルクリンは、もともとが甘いものですが、これを食べたあとでは、水も甘く感じます。レモンも甘く感じられます。

——森本さんが味覚の研究に興味を持ったきっかけは何ですか？また、卒業後の進路についても教えてください。

森本 授業で「基本5味」や「受容体」について学び、この分野では未だ明らかになっていないことが多くあることに驚き、味覚の研究がしたいと思いました。今は主に「甘味受容体」や油味を感じる仕組みについて研究をしています。食物栄養学科では管理栄養士の国家試験受験資格を取得することができるのですが、卒業後は、管理栄養士の資格を活かした仕事に就きたいと考えています。入学当初は、資格を活かした施設などで食事の献立を考えるような仕事にしたいと思いましたが、現在は、大学院に進学して現在行っている研究をさらに進め、



子ども達の間で「味覚障害」を起こしている子

味覚を通して健康を考える

発などの仕事に就くことにも興味をわいてきました。

——医療に役立つ「味覚」の働きについて教えてください。

中田 生活習慣病や糖尿病の方など食事制限をしなければならぬ人の場合、たとえばミラクリンのようなものを摂取すれば、甘いものを摂取しなくても甘味を感じることができます。そのことにより患者さんの気持ちも少し和らいだりすることもあると思います。また、「食べること」「健康であること」

です。私達の研究ではどうして私達は味を感じることができるかを明らかにしていくことで、健康的な食生活が提案できるようになれたらと思います。

が多くなっているといえます。その原因を知ることが、将来の健康を考える上でも大切なことです。

——味覚障害は具体的にどのようなことでしょうか。

中田 極端な例でいいますと「何も味を感じない」ということがあります。それは遺伝的要素因で起こることなのか、食生活など環境的要因によって起こることなのか、その原因が味覚の研究によってわかってくるかもしれません。

大人になって健康な身体でいられるためにも、栄養素を口から摂取することは健康の基本であり、味覚は、大事な役割を担っています。

——人によって「辛い」と感じたり感じなかったりする差は何ですか？

中田 人には味覚の「閾値(いきち)」※があります。これは人によって異なっています。たとえば、同じ辛いと感じることも、どこから

ミラクリンによってどうして酸味が甘味に変わるのか、その謎を明らかにするため高井さんや森本さんらは研究をすすめています。私はミラクリンたんぱく質の精製や、動物実験を通してこの研究に参加しています。

——現在わかっていることを教えてください。

高井 ミラクリン自体に味は感じられませんが、ミラクリンを口に入れた後に、レモンなど酸っぱいものを口を含むと酸味が弱まり甘味が強まります。これには、ミラクリンによるふたつの作用が考えられます。ひとつは酸味を感じる受容体の働きを抑えて酸味を弱めているということ。もうひとつは、甘味を感じる受容体を活性化して甘味を感じさせるといえることです。

中田 レモンの酸っぱさを感じる信号がブロックされてしまうと、酸味を感じなくなります。ミラクリンはそのまま食べても甘くありませんが、酸味と一緒にとると甘味受容体に結合する

どこまでを辛いと感じるかは、人それぞれですが、一番薄くしても辛いと感じる濃度を調べることに、それをその人が辛いと感じる限界として「辛味の閾値」と表現できます。「閾値」は不変ではなく、体調であったり、年を重ねることによって変化するとされています。

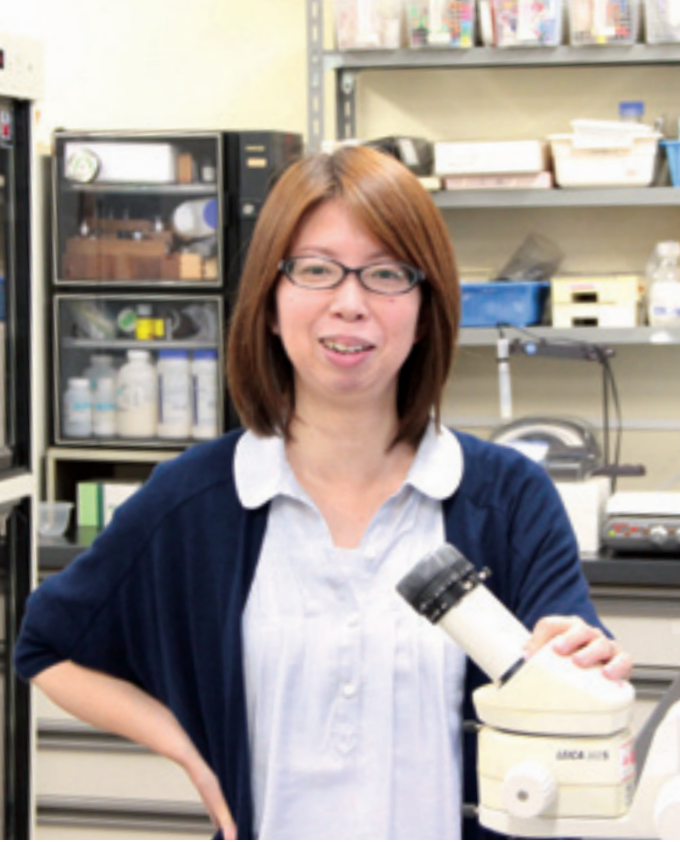
高井 人があまり辛くないと感じるものに対して、すごく辛いと感じる人は「閾値が低く、しっかりと感じてしまう」ということになります。低い濃度まで識別ができていくということです。味覚の「閾値」を知ることが、食生活の見直しなど、健康問題の改善のためのヒントにもつながっていくと思います。

中田 子ども時代からずっと薄味で育ってきた人は、薄味を好むと思います。食べ物の好き嫌いは、子どもの頃からの食習慣・食経験などのファクターに影響されます。子どもの頃にどのような食習慣をつけるかは食育の基本ですので、食生活を大切に考えていきたいですね。



中田 理恵子(なかた りえこ)
研究院生活環境科学系 講師
研究テーマ:水溶性ビタミン葉酸の生理機能の解析、健康維持増進を目的とした食品機能成分の作用機構の解析

* 人間の感覚器官が感知できる最小限度の刺激量の70%。



研究院自然科学系
助教
杉浦 真由美
すぎつら まゆみ

ゾウリムシとiPS細胞

二頭の鹿に先導される形で南門からの初出勤の日を迎えたのは、今年の6月のことです。これまでにご指導くださった先生方のお陰で、幸運にも約8年ぶりに奈良女子大学に戻ることができました。私は、奈良に戻ってくるまでの約3年間の間、iPS細胞の研究に携わっていました。iPS細胞といえば、2012年に京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を授与されたことからテレビや雑誌等で頻繁に目にすることが多くなりました。iPS細胞は日本語で「人工多能性幹細胞」といいますが、2006年に確立された技術であり、ヒトやマウスの皮膚などの細胞に、複数の遺伝子発現を制御する因子(転写因子)を導入することによって、将来的に様々な組織・臓器の細胞へと分化する能力をもつ未分化な状態の細胞ができあがります。この現象を細胞の「初期化」と呼んでいます。患者本人の皮膚などの細胞から作製ができるために倫理的な問題がなく、最近になって国内でも臨床研究に向けての取り組みが活発になってきており、医療の分野での応用が非常に期待されています。

また一方では、冷静にiPS細胞をみつめて「iPS細胞とはどういう細胞なのか」、「本当に安全なのか」、「質の良い、安全なiPS細胞を判定し、選び出すにはどうすればいいのか」、「そもそも初期化って何が起きているの?」といった疑問に答えるための多くの基礎的な研究が進められています。これらは、iPS細胞を臨床的に応用していくためにも取り組まなくてはならない重要な課題です。私は、もともと生物の不思議な現象に興味をもち、そのメカニズムがどうなっているのかを探ることが好きだったので、iPS細胞ができる「初期化」の仕組みに興味をもったのをきっかけにこの研究分野に入りました。iPS細胞の基礎的な研究に携わり、分子レベルでiPS細胞をよく調べ、「iPS細胞ってなに?どのような特徴があるの?」と思いながら日々研究に取り組んでいました。iPS細胞の医療への応用は社会的にもその早い段階での実現が求められているため、世界中の研究者がものすごいスピードで競い合って研究を進めており、このような研究の世界に実際に身をおき体験できたことは、私にとってとても貴重なことでした。

iPS細胞の研究を始めるまでの10年以上の間、私はゾウリムシの研究をしていました。正確にはゾウリムシの仲間の研究ですが、奈良女子大学の学生だった頃から、台湾の研究所、神戸と研究場所を変えながらも、基本的にゾウリムシの仲間たちの有性生殖の研究をしていました。なぜiPS細胞とゾウリムシ??と思われるかもしれませんが、個人的には生物がもつ「初期化」能力という点でつながっていたのかな、と思っています。ゾウリムシなどの繊毛虫とよばれる生物はひとつの細胞から成っている単細胞生物(つまりひとつの細胞=ひとつの個体)であり、その多くは、普段はバクテリアなどの餌を食べて二分分裂を繰り返して増殖しますが、餌がなくなるとオスとメスのような性の異なる細胞同士が接合し有性生殖である接合を開始します。接合が完了すると、接着していた二つの細胞は離れて、また別々の個体として生存していきます。一見、二つの細胞が接着して離れただけのように見えますが、接合中には細胞内で様々な複雑な現象が起こっており、この接合というステップを経ることによって、元の個体の年齢はリセットされ、性的に未熟な次の世代の個体(つまり子孫に当たる)へと若返っているのです。このゾウリムシの「初期化」ともいえるような接合という現象が、どのように引き起こされ、その過程で何が起きているのか?を知りたいと思っています。全く違う研究分野で、違う視点から細胞の「初期化」を見てきて、8年ぶりに母校に戻ってきた今、少しだけ積んできた経験を活かしながら、改めて研究を始めた頃の新鮮な驚きを大切に、生物が見せてくれる様々な不思議な現象に向かい合い、その独創性や普遍性について考察していきたいと考えています。



発話の明示的意味の内部レベル

私は、コミュニケーションに見られる様々な言語現象のメカニズムを認知的視点から明らかにすることを目標に研究をしています。本稿では、発話の明示的意味(表意)に2つのレベルがあることを、具体的な例に適用して、分かり易くご紹介したいと思います。

発話によって伝達される意味には、「はっきり言われている意味(表意)」と「含意されている意味(推意)」があることはよく知られています。明示的な方の表意はさらに、基本表意と高次表意の2種類に区別されます。例えば下部(1)では、ピーターが犯人ではないかと示唆するビルに対して、ピーターのガールフレンドのメアリーが「彼は泥棒じゃないわ!」と反論しています。この時メアリーの発話は、(2a)基本表意「ピーターは泥棒ではない」と共に、(2b)高次表意「メアリーは[ピーターが泥棒ではない]と信じている」を伝達しています。基本表意が、伝達動詞(sayやtellなど)や命題態度を表す動詞(believe, regretなど)に埋め込まれたものを高次表意といいます。

基本表意と高次表意の区別は、実は言語分析において重要な役割を果たしています。例えば、confidentially(内々に)のようないわゆる文副詞を含む(3)のビルに関する発話の場合、「内々に合格しない」ではなく「内々の話だが、彼は合格しないだろう」と解釈されます。つまり、confidentiallyは発話に含まれる動詞passを修飾して基本表意に貢献するのではなく、(4b)に示したように、伝達の動詞tellを修飾して高次表意に貢献しているのです。

次に(5)のようなアイロニー発話を考えてみましょう。アイロニーの伝統的定義「比喩の意味が字義の意味の反対であるような文彩」は既に1980年代に覆されましたが、それではアイロニーはどのような現象だと規定できるのでしょうか。ここでは、Anneが自分の発話内容「本当にピクニック日和のいい天気ね」と思っていないことは明らかで、この内容は前日のマリーの発話をエコーしたものです。(5)のアイロニー発話でAnneが伝えようとしているのは、「Maryの発話内容は全く的外れで、それを信じた私はえらい目にあつたわ/バカだったわ」というようなことだと考えられます。つまり(5)の基本表意にあたるものはAnneの伝えたい内容としては伝達されておらず、それに対するAnneの命題態度を示した高次表意が伝達されているのだと説明することができます。したがって、話者以外の誰かの発話や思考をエコーする、そしてそれに対する否定的な態度を表明するのがアイロニーだと規定できるのです。

上記のような分析は、発話解釈の認知メカニズムを解明しようとする認知語用論の領域でなされ、心理学や認知科学と相互作用しながら、今発展途上にあります。

(1) [昨日集金した部費が無くなっていることが発覚した状況で]

- A (Bill): Peter was the last person who left the room yesterday.
- B (Mary): He is not a thief!

(2) a. (1B)の基本表意: Peter is not a thief.

b. (1B)の高次表意: Mary believes that Peter is not a thief.

(3) Peter to Mary: Confidentially, he won't pass the exam.

(4) a.基本表意: Bill won't pass the exam.

b.高次表意: Peter tells Mary confidentially that Bill won't pass the exam.

(5) [Tomorrow will be a lovely day for a picnic.

(明日はピクニック日和のいい天気よ)と言う友人Maryのことは信じて出かけたが大雨に見舞われる。]

Anne to Mary: It's a lovely day for a picnic, indeed.



研究院人文科学系
教授
吉村 あき子
よしむら あきこ

教養広場

「本学教員によるエッセイ」



「『思い』を共感するということ」

鈴木りほ

すずき りほ

文学部人間科学科
教育学人間学コース3年生
出身校：大谷高等学校(京都府)



7月13日土曜日、和合亮二講演会「福島に生きる、福島を生きる」が記念館で開催されました。和合亮二さんは、ツイッターを中心に、様々な場所で震災と福島について語り続けておられる福島在住の詩人です。

この講演会は昨年度の「身体文化学演習」という授業が発端です。その中で今の日本社会や文化について考え、論文を書き、本を作ったのですが、そこで多くの人が取り上げたのが「震災」「福島」でした。この講演会はその授業の集大成という意味も持つっており、受講生を中心に実行委員会が作られたので、私もそれに参加しました。

実行委員会の活動ですが一つ目は広報です。大学を中心にきたまち、ならまちから三条通りまで、観光案内所や喫茶店、雑貨屋などのお店を二軒二軒回り、ビラの設置やポスターの掲示をお願いしました。飛び込みの営業活動はみな経験がなかったのですが、快く協力してくださる皆様ばかりで本当に感謝しています。また、講演会の告知のため、テレビやラジオにも出演しました。こちらも初めての体験だったので緊張しましたが、短時間

で情報を伝えることの難しさを実感しました。当日は会場の記念館がほぼ満席になったので、やった甲斐があったと思います。

また、もう一つの活動は和合さんのインタビューです。事前に実行委員全員で和合さんの著書を読んで質問を考え、それを率直に和合さんにつづけると、和合さんはそれぞれの質問に真剣に答えてくださり、たくさんのお話を聞けた素晴らしい時間でした。特に「思いを言葉にすることができないときこそ、その感覚を家族や恋人と味わうべきだ」という和合さんの言葉が心に残っています。

私自身、初めて「詩の朗読」を聴き、詩のエネルギーや言葉の強さを痛感しました。しかし、そのときに感じた思いを言葉にすることはできず、ただ胸が熱くなるのみでした。言葉にできない思いを実行委員の仲間と共感したあの日の瞬間を私は一生忘れないでしょう。



FMラジオ出演の様子

「貫く」

武内沙都

たけうち さと

大学院人間文化研究科
博士前期課程化学専攻2年生
出身校：兵庫県立北摂三田高等学校



私が奈良女子大学に通い始めて早6年目です。長いようで短いようなこの期間を振り返ると、特に珍しい経験はしていません。強いて言えば修士1回生の夏に北海道で行われた国際学会で、オーラル発表をしたことです。この学会に参加するまでの道のりは簡単ではありませんでした。4回生に進級する春、配属先の研究室の先輩がちょうど国際学会の発表申し込みをされていました。英語で発表練習をする先輩の姿を見て、単純に「かっこいい」と思い、そこで密かに「来年は私が！」と

う想いを温めていました。しかし、最初の数ヶ月は思うような結果が得られなまま大学院入試も重なり、いつの間にか夏が終わりま

した。後期に入ると、学会どころか卒業研究の発表も怪しくなってきましたが、私には続けられなかった。この自信は中学から大学まで約10年続けてきたソフトテニス部での活動で培われたものだと思います。部活では何度もスランプを経験しましたが、逃げずに練習を重ねそれを脱してきました。この時も「ただのスランプ」と、若干寄り道をしながらも黙々と実験を重ねた結果、11月中旬に漸く発表できる程度の結果が得られました。その後は今までの苦労が嘘のように、面白い結果が湧いてきたのです。やっぱりやればできる！とまた自信に繋がりました。

卒業研究の発表も無事終わり、国内学会での口頭発表を経て、目標としていた国際学会への準備に取り掛かりました。最初は英語力の未熟さに嘆きましたが、成長するチャンスとして自分を鼓舞し続け本番に間に合わせました。大成功かはさて置き、ひとつの目標を達成できたことへの満足感は心地良かったです。信じて続けることの大切さを改めて実感するとともに、それを支えてくれた先生や研究室のみんなに感謝しています。平々凡々の学生生活かもしれないですが、奈良女子大学での研究生生活を一緒に過ごした仲間やその時間は、私にとって大きな財産です。



よくある実験の様子

「学生の視点を活かしてできること」

濱川 真衣

はまかわ まい

大学院人間文化研究科
博士前期課程住居環境学専攻1年生
出身校：香川県立高松高等学校



私は、大学院で「中山間地域での集落維持」について研究をしています。対象地は奈良県吉野郡野迫川村です。人口は471人(2013年8月)、可住地面積は全国の市町村で最も低い2.1%です。急峻な地形のため、大雨による土砂崩壊が目立ちます。村の最も重要な問題は少子高齢化であり、高齢化率は50%近くとなっています。人口減少率も全国1位2位を争う値で、1世帯のみの集落や、すでに消滅してしまった集落などがあります。

このような厳しい環境にある野迫川村ですが、調査で訪れるうちに都市部では見られない自然の恵みや人の温かさにたくさん出会うことができました。そんな中、県主催の「県内大学生が創る奈良の未来事業」という公開コンペの募集がありました。そこで私は、「この村の魅力や村外の人にもっと知ってほしい」「村での活動人口を増やしたい」という思いで、あるプロジェクトの提案をしました。それは「自然の恵みリスタート事業」です。学生の視点により村に眠る地域資源を発掘し、



稲刈りの様子

その活かし方について村民と協議します。そして、活用例として「田舎コン」を提案しました。これは、村外から参加者を募り(村民の参加も可能)、田舎暮らしを体験したり、村民と交流をしたりするなどのプログラムを設定し、田舎への移住希望者の増加も視野に入れた合コンのことです。この企画を通じて、都市部に住む若者の関心を高めるだけでなく、地域資源活用の可能性が広がり、村民にとって村に対する誇りへとつながると考えられます。この提案は優秀賞を頂くことができたので、来年度から県予算にて事業化されることとなりました。

この事業提案によって、実践的な経験を積むことができます。学生のうちからこのような機会を得ることができ、とても嬉しく思います。これからの地域同士の架け橋となれるよう、自分の研究をうまくアウトプットしていきたいです。

卒業生からのメッセージ

「奈良女子大学が繋いでくれたアジアへのネットワーク」

磯部 香

いそべ かおり

大学院人間文化研究科博士後期課程
社会学専攻学専攻2018年10月修了
現 大連外国語大学日本語学院准教授
出身校：香川県立高松高等学校



となり、野村鮎子先生・安藤香織先生・山崎明子先生から多くの示唆・サポートを頂き、現在、足りなかった東アジアの視点を導入して日本統治期台湾における家族ジェンダーについての研究を進めています。

そして、現在、私は中国大連にいます。なぜ大連にいるかといえば、これも奈良女が繋いでくれたネットワークによつてです。同じゼミであった中国人の先輩が日本に来られた際、「もしアジアや中国語に興味があるならうちの大学で働いてみませんか」と声を掛けてくださいました。大連も台湾と同様、日本と縁が深い場所であり、中国の中でも知日家が多い場所として知られています。ここで日々中国の学生たちと共に日本語そして日本社会文化について勉強しています。発展目覚ましい現在の中国に身を置くこと、人生で二度も東アジアで生活できたことに日々感謝しています。



台湾国立博物館



中国の学生たち

高校生からの古典読本

平凡社
2012年11月11日発行
1470円(税込)



岡崎 真紀子
おかざき まきこ
研究院人文科学系
准教授



大学教員をしていると、挨拶がわりに「最近おすすめの本は何ですか」と言われることがあります。それは「今日は良い天気ですね」と同じようなもので、実は相手も本気で二冊を紹介してほしいわけではない場合も多いのです。そうと分かっているにもかかわらずつい頭のスイッチが入って、いろいろな書物について熱く語ってしまうこともまた一種の職業病でしょうか。

ここで、最近おすすめの本は「高校生からの古典読本」であると書いたらとすれば、あからさまな自著PRになるのかもしれませんが、今それよりも言いたいのは、「おすすめ」という行為の意味です。他者に何かを薦める行為の前提には、自分自身がそれを面白くてもたまらないと思つたという実感があるものです。この本は、四人の古典文学研究者が、近代以前の日本文学のなかから作品の二節を選び、自分はこのなふう面白くつて読んだという解説を添えて、わかりやすくまとめた二冊。「源氏物語」から僧侶の奇行を語る説話、萩原朔太郎の文語詩に至るまで、さまざまな作品を収めてあつて、中学校や高等学校の「古典」の教科書ではお目に掛からないような文章も積極的に収録しています。この本を手にとつた読者にも、古典を読むことの愉しさと豊かさが伝わることを願つてやみません。(文責 岡崎真紀子)

コンパクト犯罪心理学

北大路書房
2013年2月20日発行
1800円(税込)



岡本 英生
おかもと ひでお
研究院生活環境科学系
准教授



犯罪心理学を学びたいという人は、以前に比べれば増えているように思います。しかし、そのような犯罪心理学に関心を持っている人たちに、犯罪心理学の姿を正しく伝え、なおかつ犯罪心理学に対する興味をさらに高めてもらえるといった本は、あまりありません。そこで、この本が作られました。この本には次の3つの特徴があります。まず1つめは、これから犯罪心理学を学ぶうとする人のために、犯罪心理学の各領域についてほぼまんべんなく取り扱い、なおかつコンパクトにまとめたものとなっていること、2つめは、ドラマや映画で見るような犯罪心理学ではなく、科学的で本当は奥が深い犯罪心理学を知ってもらう内容となっ

ていること、そして3つめは、犯罪心理学で卒論や修論を書きたいという学生、院生のために役に立つ研究方法を解説することにも、研究例を多く紹介していることです。特に3つめの特徴は重要で、研究対象として、捕まっている強盗犯や殺人犯に会いに行かなくても、実は身近にいる大学生などを対象とすることで犯罪心理学の実証研究が可能だということも示しています。本書で犯罪心理学を学ぼうとする人がもっと増えたいと願っています。

物見遊山・旅と娯楽の風俗学

新宿書房
2012年12月25日発行
2310円(税込)



内田 忠賢
うちだ たたよし
研究院人文科学系
教授



この新刊書の母体となる現代風俗研究会(通称「現風研(げんふうけん)」)とは、1976(昭和51)年、桑原武夫、多田道太郎、鶴見俊輔らが、京大人文科学研究所を拠点にスタートさせた、世相の変化を考える市民研究会です。この研究会では、毎年、年間テーマを決め、京都市内での隔月の公開研究会の他、年1冊の単行本(年報)を出してきました。今回の編者、まとめ役は、学部入学以来、会員歴30数年となる私。本書では、旅行やレジャーランドだけでなく、温泉、京都本、お祭り…多種多様な物見遊山をめぐる研究論文やエッセイを、おもちゃ箱のように詰め込んでみました。自画自賛ながら、とても面白い…しかも、編者の権限で、

奈良女文学部の学部生たちにも、執筆陣に加わってもらいました。ぜひ、図書館で借り出し、あるいは書店でお立ち読みください。

なお、この本に関連する現風研年報バックナンバーとしては、「地域の風俗」(1981年、世界思想社)、「旅行の風俗」(1983年、同)、「ノスタルジックタウン」(1987年、リプロポト)、「現代遺跡」(1991年、同)、「恋愛空間」(1992年、同)、「20世紀の遺跡」(2002年、河出書房新社)、「娯楽の殿堂」(2005年、新宿書房)、「移動の風俗」(2006年、同)などが発行されています。

史上最強図解 これならわかる! 分子生物学

ナツメ社
2013年4月18日発行
2100円(税込)



渡邊 利雄
わたなへ としお
研究院自然科学系
教授



分子生物学は20世紀が生み出した知的文化遺産の一つです。黎明期は「分子生物学の夜明け」に詳しく書かれています。DNAの二重らせん構造の解明を契機として、生物学は論理的に研究できる学問となりました。進歩は速く毎年教科書が書き換えられるほどです。しかし一方で、多くの情報蓄積のために分子生物学は難しい「暗記物」と学生や一般の人には捉えられがちなことを残念だと思っています。

本書は、文系の編集者と企画者が「自分で読んでも分かる、楽しい」をコンセプトに、私との2年間のやり取りを経てできた入門書です。分子生物学を生み出した若い研究者たちが、何を考え当時の技術の限界に挑戦し、まさにブリーコラージュの極致として分子生物学を生み出してきた歴史から、iPS細胞を含む現在の最先端研究までを「なるほど、そういうことだったのか」と分かるように書きました。

これは「すくすく育て培養細胞」という実験から17年目の自身2冊目の著書になります。幸いにも前者はロングセラーとなり、研究者の卵の育成に大いに役立っています。この本も研究者の卵に加え、文系や生物以外の理系の学生の入門書として役に立つことを祈っています。

英国レスター大学

との交流事業



篠原 きよの

しのはら きよの

大学院人間文化研究科
博士前期課程生物科学専攻2回生
出身校：四天王寺高等学校(大阪府)



付いたら欧州上空...そのような感覚でした。
2週間のプログラムのうち前半はレスター大学の学生に混ざっての学生実習でした。私が実習に参加した分子生物学コースでは、世界中からの留学生が一つの空間で協力して実験、勉強していました。そのほとんどが私たちと同じく母国語を別に持つにも関わらず、英語で専門性の高い議論を展開している場面を目の当たりにし、英語によるコミュニケーション能力の重要性を痛感しました。実習終了後も授業の聴講やラボ訪問、ポスターセッションと、濃密な時間を過ごしました。また、一緒に研修に参加した7名とは2週間、共同で自炊生活を送りました。最初は不安だらけだった現地での生活も、慣れてみれば食糧や日用品の買い出しひとつとっても新しい発見ばかりで、毎日楽しくて仕方ありませんでした。研修期間中に親しくなった学生とは帰国して半年以上が過ぎた今でも時々チャットで家族や自分の国について話します。「いつか日本に行ってみよう」という彼らに、自信を持って英語で日本を案内できるよう、自分なりに出来ることを続けていこうと思います。

恋都祭

実行委員会

親松 優香

おやまつ ゆうか

文学部人文社会学科
文化メディア学コース3回生
出身校：新潟県立新発田高等学校



私たち恋都祭実行委員会は、毎年11月上旬の3日間に開催される奈良女子大学の学園祭「恋都祭(ことさい)」の企画運営を行っています。メンバーは1回生から3回生までの学生で構成されており、毎年4月か



ら活動をスタートし、11月の本番に向けて会議を重ね、春・夏・秋と学祭準備に熱く取り組んでいます。
私は今年委員長になり、初めて「全体をまとめる」ことの大変さを知りました。恋都祭ではたくさんサークルさんや団体さんが露店を出したり、ステージ発表を行ったりします。その団体さんたちをまとめ、出店希望場所や貸出希望物品のアンケートを取ったり、パンフレット用の広告取りに協力してもらったり、いろいろなことを実施してきました。そのすべてが来場者・出店者・発表者：恋都祭に関わる全ての人が、恋都祭当日、祭りをいかに楽しめるかに繋がっていることを自覚し、今は実行委員会の責任を感じながら日々活動しています。
このような緊張感の中で、やはり頼りになるのは委員会の仲間です。「やるからにはより楽しい恋都祭をつくりたい」という強い意志をもつ仲間が集まり、問題が行き詰まれば皆で話し合い助け合いながら解決しています。また、学生生活課の方々にも、教室や物品の管理などでは、毎年変わっていく状況の中で、いつも助けていただいています。そして、人数の少ない実行委員会に代わって、サークルさん・団体さんにもいくつかの仕事を任せられています。このように、多くの人たちの協力のおかげで、実行委員会は企画運営を行っているのです。
委員長になり、全体をまとめる大変さを知ったと同時に、今まで自分たちがどれだけの多くの人たちに支えられて来たのかわかることも出来ました。これからもその感謝の気持ちを忘れずに、恋都祭本番に向けて準備を全力で進めていきたいと思います！

交換留学を終えて

奈良女子大学では、平成25年8月1日現在、海外の37の大学と国際交流協定を締結し、交換留学や研究者交流を行っています。今回は、今年6月にイギリスでの交換留学期間を終えたばかりの学生と、台湾の協定校からの交換留学学生を日本人チューターとしてサポートした2人の学生に、その経験を振り返ってもらいました。

ローマ時代に起源を持つレスターは、文化に恵まれ、国際色豊かな街です。そんな歴史ある地で、専攻の英語学、特に英語のルーツを深めようと、私は留学を志望しました。

大学では英語史と社会言語学を中心に学びました。レスター大学の特徴は、留学生の積極的な受け入れです。少人数で取り組む授業や課題、プレゼンテーションを通して学生同士が切磋琢磨できる環境に身を置くことで、試行錯誤を重ね徐々にディスカッションできる様になりました。多国籍な学生との討論は貴重な相互理解の場でした。

留学中は大学寮に滞在し、国籍の異なる5人の学生との共同生活でした。互いに郷土料理を振る舞うのが楽しみでした。また、学生の集いや地域の催し、日本語学習者との交流にも頻繁に参加する等、何事にも意欲的に挑戦することで、視野や人脈が広くなりました。今後はこの経験と人との縁を繋げていきたいです。このような機会を頂いたことに、感謝と光栄の気持ち一杯です。

吉川 真末

よしかわ まみ

文学部言語文化学科
ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース4回生
出身校：愛知県立半田高等学校



寮のフラットメイトと

日本人チューターとして留学生と関わって

留学生の来日直後は、市役所での手続きや携帯電話・銀行口座・インターネットなどの契約の手伝い、学内・周辺のお店の案内、受講する授業のアドバイスなどを行いました。留学生の方が生活に慣れてくると、メールのやり取りや一緒に食事をして、日常生活で困っていることの相談を受けました。

チューターの経験を通して、日本での普段の生活が留学生の方からどう見えるのか考えるようになり、日本を外側から見る視点を得ました。

また、留学生の方の日本語や日本文化を学びたいという真摯な姿勢に影響を受け、語学の資格を取るため勉強を始めました。自身の視野が広がり、外国人の方や外国語をより身近に感じる事ができ、とても良い経験になりました。

葛野 安紀

くすの あき

大学院人間文化研究科博士前期課程
言語文化学専攻2回生
出身校：滋賀県立草津東高等学校

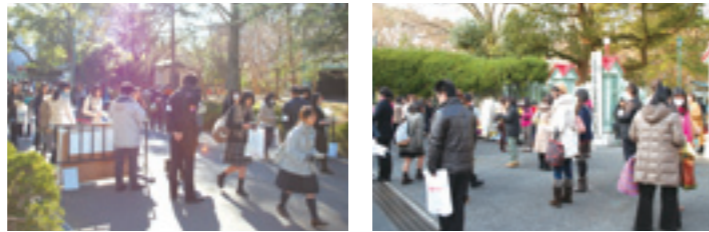


留学生の藤さんと一緒に(右側がチューターの葛野さん)

平成26年度入試情報

各学部学科で受験を要する教科・科目、配点及びその他入試に関する詳細情報については、必ず各種募集要項等で確認してください。

□は平成26年度から新しく学生を募集する学科。



平成25年度入試の様子

学部	学科・入試区分等	入試区分・出願期間・試験日・募集人員			
		一般入試 出願期間:2014.1.27~2.5		推薦入試 出願期間:2013.12.10~12.17 試験日(生活環境学部のみ): 2014.2.2	
		前期日程 試験日:2014.2.25	後期日程 試験日:2014.3.12		
文学部	人文社会学科	99	45		
	言語文化学科				
	人間科学科				
	小計	99	45		
理学部	数物科学科	A型(数学型)	17	9	3
		B型(物理型)	18	11	5
	化学生命環境学科	化学コース	23	12	4
		生物科学コース	23		4
		環境科学コース	17		4
	小計	98	32	20	
	生活環境学部	食物栄養学科	25	10	4
心身健康学科		A型(文学型)	22	3	
		B型(生活環境型)		7	
情報衣環境学科		衣環境学コース	10	5	5
		生活情報通信科学コース	10		5
住環境学科		25	7	3	
生活文化学科		18	7	5	
小計		110	39	22	
合計	307	116	42		

- 備考
- 文学部においては、前・後期日程とも、学科別の志望は認められません。第2年次から各学科に所属することになります。その際、定員を超過する学科については選考を行うことがあります。
 - 理学部数物科学科においては、A型かB型で受験することになります。第2年次から数学コース、物理学コース、数物連携コースのいずれかに所属することとなります。
理学部化学生命環境学科前・後期日程では志望するコースを選択してください。
なお前期日程においては第3志望まで、後期日程においては、コース毎の定員は設けていませんが、学科内で第2志望までコース選択することができます。
 - 生活環境学部においては、前・後期日程とも第3志望まで学科(コース)を選択することができます。志望出来る範囲は以下のとおりです。
前期日程:食物栄養学科・心身健康学科(B型)・情報衣環境学科(衣環境学コース)・住環境学科・生活文化学科
後期日程:食物栄養学科・心身健康学科(B型)・情報衣環境学科(衣環境学コース)・情報衣環境学科(生活情報通信科学コース)・住環境学科・生活文化学科
心身健康学科においては、A型かB型で受験することになります。前期日程については、総合得点によりA型B型一括で合否判定します。
第3年次から生活健康学コース、スポーツ健康科学コース、臨床心理学コースのいずれかに所属することになります。
その際、定員を超過するコースについては選考を行うことがあります。
情報衣環境学科については第1年次からコースに所属することになります。後期日程については、総合得点により衣環境学コース及び生活情報通信科学コースを一括で合否判定します。
 - 各学部の前期日程の募集人員には、帰国生入試による募集人員(各学部とも若干名)及び本学附属中等教育学校との高大連携特別教育プログラムに基づく特別入試による募集人員(3学部で6名以内)を含みます。
 - 私費外国人留学生入試は、各学部の入学定員外で若干名募集します。
 - 文学部及び生活環境学部の一部分野で行われるAO入試については、本紙発行時点で出願期間が過ぎているため、掲載しておりません。

学生の就職活動の現況と奈良女子大学の取り組み

奈良女子大学では、学生が卒業後に社会の第一線で活躍できる高度専門職業人となるために、在学時から将来を見据えてキャリアを形成・開発するとともに、自立した人間として「考え・判断し・行動できる力」を養っています。あわせて、幼稚園から高等学校までの教職課程を設けており、また所属する課程によっては、栄養士や管理栄養士(受験資格)等の各種資格を取得することができるため、卒業生はこれらの資格を生かして、社会の様々な舞台上で活躍しています。

また学士課程卒業後、本学大学院人間文化研究科博士前期課程に進学する学生も少なくありません。特に理学部では約60%の卒業生が博士前期課程に進学し、それぞれの専門分野を修め、修了後は希望者の多くが高い専門的能力を有する専門職業人として、様々な企業や公的機関に就職しています。

平成24年度の就職率は、前年度と同様の高い水準を保つ結果となっており、安定した就職実績を誇っています。平成25年度卒業・修了生に対する求人も前年度に比べ増加しており、本年度の就職率についても前年度と同様の結果が期待できます。

大学および学生を取り巻く環境は、近年めまぐるしく変化しており、平成27年3月に卒業・修了する学生から「採用選考に関する企業の倫理憲章」の変更で活動開始時期が遅くなることが決まっています。

このため、奈良女子大学では、キャリア教育・インターンシップ等を通じて学生の普遍的な能力の育成に取り組むとともに、就職活動支援のための組織・プログラムを設け、同窓会組織とも連携し、社会の変化に対応した学生のバックアップ体制を整えています。

平成24年度の実績 (詳しくは<http://koto.nara-wu.ac.jp/syusyoku/syusyoku.htm>をご覧ください)

- 文学部 : 就職者137名(就職率91%<前年度88%>) : 大学院進学者28名
- 理学部 : 就職者67名(就職率96%<前年度91%>) : 大学院進学者114名
- 生活環境学部 : 就職者115名(就職率94%<前年度95%>) : 大学院進学者30名
- 大学院博士前期課程 : 就職者107名(就職率82%<前年度87%>) : 博士後期課程進学者20名



文学部	人文社会学科	ダイキン工業(株)、(株)角川グループパブリッシング、(株)北園新聞、西日本旅客鉄道(株)、(株)紀陽銀行、(株)百十四銀行、(株)四国銀行、オリックス(株)、東京海上日動火災保険(株)、みずほ情報総研(株)、大分県庁、高等学校教諭(京都府)、小学校教諭(奈良県)
	言語文化学科	(株)ニトリホールディングス、(株)滋賀銀行、(株)伊予銀行、三井住友海上火災保険(株)、ソニー損害保険(株)、(株)河合塾、高等学校教諭(埼玉県、愛知県、岐阜県、鹿児島県)、中学校教諭(奈良県、三重県)
	人間科学科	サッポロビール(株)、タカラスタンダード(株)、西日本電信電話(株)、(株)ケイ・オプティコム、イオンリテール(株)、東京海上日動火災保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、石川県庁、大阪府庁、奈良県庁、中学校教諭(大阪府、兵庫県)、小学校教諭(愛知県)、幼稚園教諭(大阪府)
理学部	数学科	西日本電信電話(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)日立ソリューションズ、スミセイ情報システム(株)、(株)伊予銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、高等学校教諭(岐阜県)、中学校教諭(奈良県)
	物理科学科	新日鐵住金(株)、三菱電機(株)、日産自動車(株)、西日本電信電話(株)、中学校教諭(兵庫県)
	化学科	(株)大塚製薬工場、(株)三和化学研究所、東日本電信電話(株)、高等学校教諭(広島県)、中学校教諭(大阪府)
	生物科学科	山崎製パン(株)、大塚製薬(株)、(株)近鉄リテールサービス、高等学校教諭(私立学校)
	情報科学科	日産自動車(株)、アイシン精機(株)、コニカミノルタ(株)、三菱電機(株)、西日本電信電話(株)、(株)日立システムズ、(株)OKIソフトウェア、(株)三菱東京UFJ銀行
生活環境学部	食物栄養学科	ミズノ(株)、理研ビタミン(株)、(株)ロック・フィールド、島根大学医学部付属病院、公益財団法人日本食品油脂検査協会、東京都庁、中学校教諭(埼玉県)
	生活健康・衣環境学科	日本マクドナルド(株)、バイエル薬品(株)、プラザ工業(株)、(株)アシックス、イトキン(株)、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、福岡工業(株)、YKK(株)、(株)ワコール
	住環境学科	(株)一条工務店、積水ハウスリフォーム(株)、パナホーム(株)、三井不動産リフォーム(株)、クリナップ(株)、TOTOバスクリエイト、(株)サンゲツ、奈良県庁
	生活文化学科	(株)トヨタコミュニケーションシステム、イオンリテール(株)、日本生命保険相互会社、(株)北陸銀行、香川県庁
大学院博士前期課程	国際社会文化学専攻 言語文化学専攻 人間行動科学専攻	(株)ユニテッドアローズ、(株)思文閣、(株)さなる九州、愛知県庁、高等学校教諭(兵庫県)、小学校教諭(京都市、奈良県)
	数学専攻 物理科学専攻 化学専攻 生物科学専攻 情報科学専攻	ユニチカ(株)、日産自動車(株)、日立造船(株)、住友電気工業(株)、(株)東芝、三菱電機(株)、富士通(株)、三菱スペースソフトウェア(株)、三菱電機コントロールソフトウェア、北陸日本電気ソフトウェア(株)、凸版印刷(株)、白鶴酒造(株)、(株)花王、JA西日本くみあい飼料(株)、田村薬品工業(株)、Meiji Seikaファルマ(株)、三重県庁、高等学校教諭(大阪府、奈良県)、中学校教諭(兵庫県)
	食物栄養学専攻 生活健康・衣環境学専攻 住環境学専攻 生活文化学専攻	サントリーホールディングス(株)、田村薬品工業(株)、佐藤薬品工業(株)、三菱化学(株)、積水リフォーム(株)、トヨタホーム(株)、島根県庁、横浜市役所、高等学校教諭(富山県)、栄養教諭(大阪府)

※上記は就職先企業の一例です。

2014年4月 奈良女子大学が変わります!

奈良女子大学は「男女共同参画社会をリードする女性人材養成」の拠点として
激動する社会のニーズに応えられる大学を目指し平成26年4月に改組を実施します。

奈良女子大学では、近年急速に変化する社会やその要請に対応できるよう学部を越えた教育組織の改革(改組)を平成26年4月から実施します。

この改組では、人々の生活に直結した課題を対象とする実践的な学問分野である生活環境学部を拡充強化するとともに、現代社会の知識基盤を支える基礎学問分野を扱う文学部と理学部では、これまでの特徴を生かしつつ基盤の強化を図ります。特に、理学部と生活環境学部の一部に大きな変更があります。

理学部では、現行の5学科から「数物科学科」と「化学生命環境学科」の2学科に大括り再編します。「数物科学科」には数学コース、物理学コース、数物連携コースがあり数学と物理学が連携した新しい教育を目指します。「化学生命環境学科」では化学コース、生物科学コース、環境科学コースが連携して「物質と生命、それをとりまく地球環境を総合的にとらえる力」を育てます。生活環境学部では、生活健康・衣環境学科の生活健康学専攻と衣環境学専攻を分離し、さらに他学部の関連する教育研究分野等を加えることで、生活健康学コース、スポーツ健康科学コース、臨床心理学コースからなる「心身健康学科」と、衣環境学コースと生活情報通信科学コースからなる「情報衣環境学科」の2学科へと拡充し、変化する社会に対応した生活診断力と生活改善力を持つ高度専門職業人を養成します。これにともない文学部では、「人間科学科」を現行の4コースから教育学・人間学コースと心理学コースの2コースに重点化し、広い意味で教育に特化した人材育成を強化します。また生活環境学部の改組とも関連して、大学院人間文化研究科の博士前期課程の生活健康・衣環境学専攻を「臨床心理学コース」を加えた「心身健康学専攻」に改めます。

旧組織(現行)

理学部
■数学科※
■物理科学科※
■化学科※
■生物科学科※
■情報科学科※
自然情報学講座
数理情報学講座

生活環境学部
■食物栄養学科
■生活健康・衣環境学科※
生活健康学専攻
衣環境学専攻
■住環境学科
■生活文化学科

文学部
■人文社会学科
■言語文化学科
■人間科学科
スポーツ科学コース
子ども臨床学コース
総合心理学コース
教育学・人間学コース

大学院人間文化研究科 博士前期課程
■生活健康・衣環境学専攻※
生活健康学コース
衣環境学コース
(他の専攻は変更なし)

新組織(2014年4月より)

理学部
■数物科学科(定員63名)
数学コース
物理学コース
数物連携コース
■化学生命環境学科(定員87名)
化学コース
生物科学コース
▶環境科学コース

生活環境学部
■食物栄養学科(定員35名)
■心身健康学科(定員40名)
生活健康学コース
▶スポーツ健康科学コース
臨床心理学コース
■情報衣環境学科(定員35名)
衣環境学コース
▶生活情報通信科学コース
■住環境学科(定員35名)
■生活文化学科(定員30名)

文学部
■人文社会学科(定員60名)
■言語文化学科(定員50名)
■人間科学科(定員40名)
教育学・人間学コース
心理学コース

大学院人間文化研究科 博士前期課程
■心身健康学専攻(定員25名)
生活健康学コース
衣環境学コース
臨床心理学コース

※平成26年度の学科や専攻の学生募集は行いません。

